

電子計算機結合に関する意見照会書

資料 2－1

令和 4 年 5 月 6 日

上尾市情報公開・個人情報保護運営審議会  
会長 様

実施機関名

教育委員会

保有個人情報の電子計算機処理を行うに当たり、次のとおり市以外の者と通信回線により電子計算機の結合を行いたいので、上尾市個人情報保護条例（平成11年上尾市条例第31号）第9条第3号の規定により意見を求めます。

事務の名称	小・中学校におけるネットワーク基盤システム更改業務 小・中学校における統合型校務支援システム更新業務
事務の概要	小・中学校で校務用に使用しているネットワーク基盤システムの更改、及び統合型校務支援システムを導入するにあたり、サーバー機器等を上尾市役所第三別館3階サーバー室から民間のデータセンター利用形態に変更する。
保有個人情報の内容	・児童・生徒の氏名、学年、所属クラス及び成績情報 ・教職員の氏名
結合先	NTT東日本データセンター(さいたま市中央区)
対象者の範囲	小・中学校の児童、生徒及び教職員
電子計算機の結合を行う理由	厳重なセキュリティや災害対策、停電対策を行っている建物にサーバ機器等を設置することにより、個人情報の安全性を向上させる。また、災害時を含めた業務の継続を確保し、安定した教育を提供するため。
個人情報の保護措置	データセンターと上尾市を専用回線で結び、情報漏洩と外部侵入を防止する。 また、24時間365日、人的及び機器による監視を行う。
担当課	教育総務部教育総務課、学校教育部学務課
備考	広報広聴課のCMS(ホームページ)についても、同データセンターを利用している。

上尾市情報公開・個人情報保護運営審議会  
説明資料

教育総務部 教育総務課

目次

- 1 自治体クラウド（総務省）の推進について……………P 1
- 2 データセンターとは……………P 2
- 3 総合行政システム更新事業について……………P 4
- 4 個人情報の取扱いについての措置……………P 5
- 5 データセンターサービスイメージ……………P 6
- 6 総合行政システム更新スケジュール……………P 6

## 1 自治体クラウド（総務省）の推進について

自治体クラウドとは、地方自治体の情報システムをデータセンターに移し、複数の市町村がシステムを共同で使うことができる環境、またはその環境を作る取り組みを指します。

総務省では、平成 20 年前後に始まった自治体の業務を電子化するプロジェクト「電子自治体」の一環として、自治体クラウドの普及に力を入れています。サーバなどシステム構築に必要な機器等をデータセンターに設置し、ネットワークを介して複数の市町村による共同利用を可能にするシステムを普及させるため、平成 21 年から自治体クラウド開発実証事業を推進しています。

東日本大震災の経験も踏まえ、堅牢なデータセンターを活用することで、行政情報を保全し、災害・事故等発生時の業務継続を確保する観点からも自治体クラウドを推奨しています。また、各自治体がサーバ機器等を所有せず、システムのみを利用することで情報システムに係る経費の削減が可能という利点もあります。

## 2 データセンターとは

データセンターとは、下記の 3 点の特徴を備えた施設です。

### (1) 地震などの災害対策が施されている

データセンターの建設にあたり、活断層や河川、海岸から離れた場所であることや付近に化学工場などがないことなどを立地条件としています。そのため、災害が発生しても影響がない場所に建設されております。加えて、免震装置や避雷設備等、災害に対する設備も完備されており、例え大規模な災害が発生してもデータセンターに設置したサーバ機器等に被害はありません。

特に地震については震度 7 まで耐えられる免震装置があり、そのため東日本大震災の時もデータセンター及びデータセンター内のサーバ機器等に被害はありませんでした。

### (2) 停電が発生しても電力供給が途切れない仕組みがある

なんらかの事情で電力会社からの電力供給が途絶えた場合でも、同時に非常用発電機が稼働する仕組みになっています。そのため、システムの障害やデータの消失といった事態を引き起こすことはありません。

また、非常用発電機用の燃料が 3 日分備蓄されているので、電力がすぐに復旧しなくても対応に困りません。東日本大震災直後も非常用発電機により通常と変わらないシステムの稼働の状態を保つことができました。その後の計画停電実施期間も、停電中は非常用発電機から電力を供給していましたので、システムの稼働に影響はありませんでした。

### (3) 外部からのセキュリティ対策が施されている

監視ルームでの 24 時間体制の監視や生体認証による入室管理、そして廊下・室内のいたる所に監視カメラが設置してあります。サーバ室には窓もありませんので、外部からの不審者の侵入ができないようになっています。

また、サーバラックは無関係な人物が勝手に開けられないように、電子鍵で施錠されています。サーバラックを解錠するためには、入館時に貸出される IC カードが必要です。また、その IC カードは必要なサーバラックのみ開けられるよう設定しています。施錠の際は、鍵のかけ忘れがないよう自動で鍵がかかる仕組みになっています。

### 3 学校ネットワーク基盤システム更新事業及び統合型校務支援

#### システム更新業務について

学校ネットワーク基盤システムは小・中学校の校務用及び学習用ネットワークのインターネット接続や電子メール、共有ファイル等、ネットワークの基盤となるものです。また、ここに校務支援システムの一部機能であるグループウェアを導入していましたが、この更改を機に名簿管理や成績管理等が可能な統合型校務支援システムを導入する予定です。

現在、上尾市役所第三別館 3 階にサーバ機器等を設置しており、平成 29 年 10 月にシステムを導入し、今年度 9 月末をもってリース満了を迎えることになります。

今回の更新に伴い、サーバ機器等を上尾市役所第三別館 3 階サーバ室の自庁管理から民間のデータセンター利用形態に変更することで個人情報の安全性を向上させます。また、システムの安定稼働の確保により継続した市民サービスを提供します。

## 4 個人情報の取扱いについての措置

### (1) 専用の回線による他のネットワークからの分離

児童・生徒や教職員の名簿、また成績情報等を扱う統合型校務支援システムについては、インターネット等の外部接続からは隔離し運用するシステムを構築するため、情報が外部へ漏れることはなく、また外部からアクセスできないようになっています。

### (2) 個人情報の持ち出しの阻止

データセンターは、事前の来館申請による受付や生体認証などの各種セキュリティ対策により、不審者の侵入ができないようになっています。また、入館者もサーバ室へは手荷物・携帯電話の持ち込みが一切禁止されていますので個人情報を抜きとる媒体等を使用することができません。

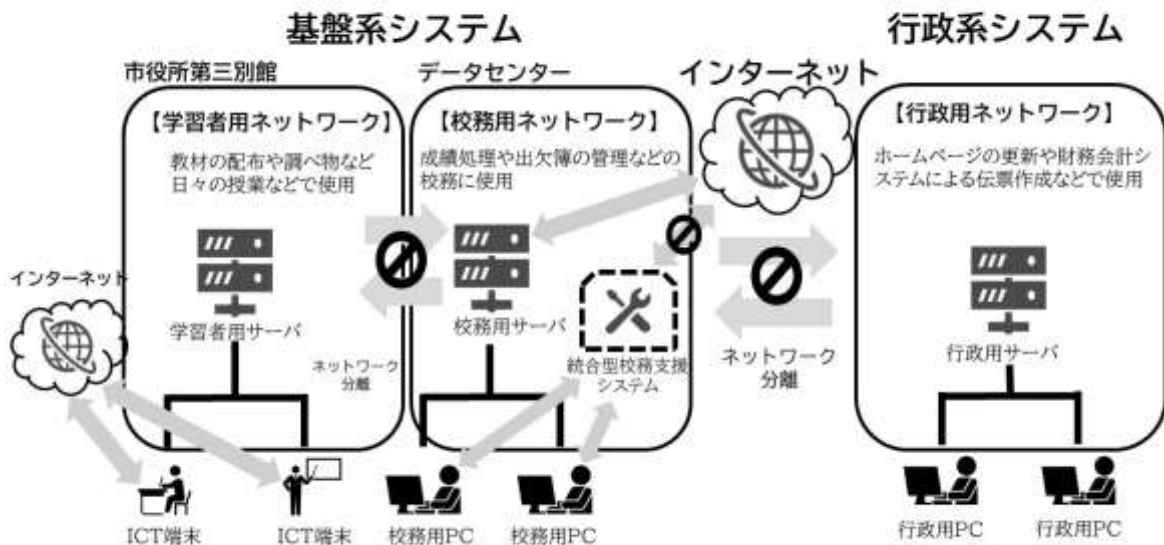
上尾市のシステムが格納されているラックについては、データセンターが管理を行っていますが、上尾市の許可なしにはラックの解錠ができないようになっています。また、監視カメラが死角の無いように設置されています。

### (3) 遠隔操作の制限

障害に対する迅速な対応をとるため、東日本電信電話株式会社及び、今後決定する統合型校務支援システム保守業者から遠隔でシステムのメンテナンス等の作業をすることができます。しかし、遠隔操作をするためには必ず上尾市教育委員会の許可が必要になります。また、上尾市のシステムを経由しないとデータセンターにアクセスできないようになっています。

## 5 データセンターサービスイメージ

# 小中学校におけるネットワーク構成図



## 6 総合行政システム更新スケジュール

項番	工程	2022年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	物品調達(順次納品)	→					
2	基本設計		▲PJ計画書承認	→		夏休み期間	
3	詳細設計			→			
4	事前キッティング				→		
5	センタ構築(DC/第3別館)				→		→
6	拠点構築					→	→
7	データ移行/AD切り替え					→	→
8	研修(管理者/教員)						→
9	試用/運用準備						→
10	保守運用開始						▲10/1~